

OCU指標を用いた多様な学修成果の総合化とその活用 スキーム構築による卒業時の学修成果の質保証と向上

1. 大阪市立大学におけるAP事業の概要

学生の学修時および卒業時の質保証を行う4つの取組スキーム

- ① 総合大学における多様な学問分野を包括し、卒業時はもとより学修途中段階での学修成果をOCU指標としてわかりやすく可視化
- ② OCU指標と間接評価指標の総合的活用による学生の自律的学修活動支援と学修成果の質の向上をはかる
- ③ アクティブラーニング型の教育実践を含む、組織的な教職員のFD・SDと教育改善の実施
- ④ 3ポリシーにもとづく教育の点検・評価・改善

2. 学修支援推進室の概要

SA/TA/PD等と共同で行う自律的学修・教育支援の推進

- ① 大学における一般学修支援及び、英語・数学など専門的内容に関する学修支援の実施
- ② SA/TA/PD等の育成プログラムの開発・実施
- ③ アクティブラーニング型学修・教育推進支援
- ④ 授業時間外に、学生が、自習や授業準備のためのグループディスカッション・グループワーク等を行えるスペースの提供（自習室の活用）
- ⑤ 学生に届けるための工夫を含む、学内外への広報

3. OCU指標の開発・導入と学修支援推進室における自律的学修・教育支援

OCU (Osaka City University) 指標 = 科目ナンバーごとに定められた6つの学修成果の配分比 × 成績評価 (GP)

[OCU指標の特色]

- 多様な学生の多様な学修成果を、6つのシンプルな観点でわかりやすく可視化
- 各科目を履修することで、OCU指標における学修成果の数値が累積

[学びの見える化・説明ツールとしてのOCU指標]

- 卒業時のみならず学修途中段階での学びの軌跡の振り返りや学びの計画ツール、自己の学びを他者に説明するためのツールとしての活用も目指す

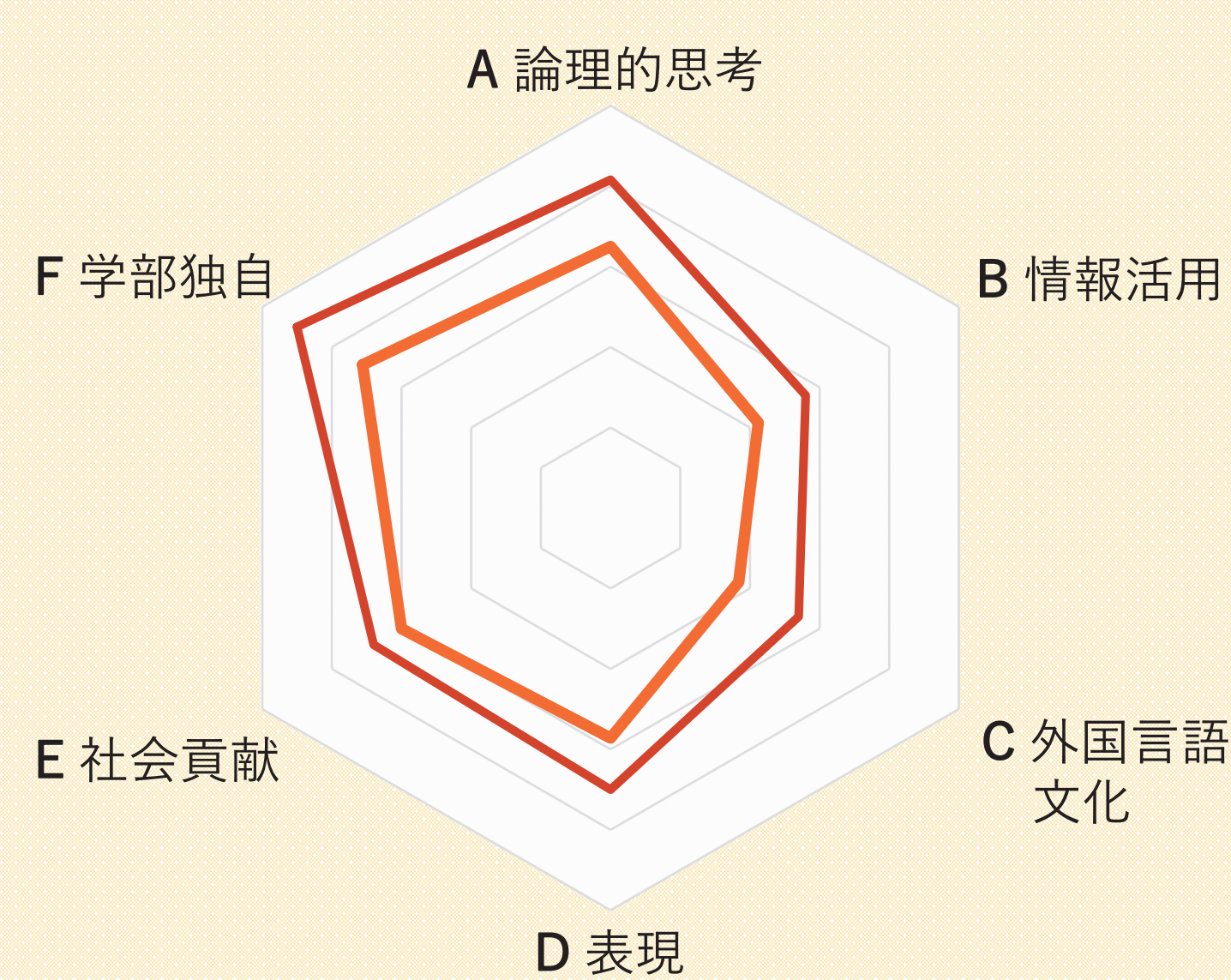
[OCU指標による学修相談とカリキュラムや教育の検証・改善]

- 学修支援推進室で、OCU指標を活用した学修相談を実施
- 各部署等でOCU指標をカリキュラムや教育の検証・改善にも活用

■ 科目ナンバーごとの学修成果配分例

科目α	論理的思考 (3)	情報活用 (2)	外国言語 (2)	表(1)	社(1)	学部独自 (3)
科目β	論理的思考 (3)	情(1)	外(2)	表(1)	社(1)	学部独自 (5)
成績AA	論理的思考 (3)	情報活用 (2)	外国言語 (2)	表(1)	社(1)	学部独自 (3)
成績B	1.5	1.0	1.0	0.5	0.5	1.5

■ OCU指標レーダーチャート

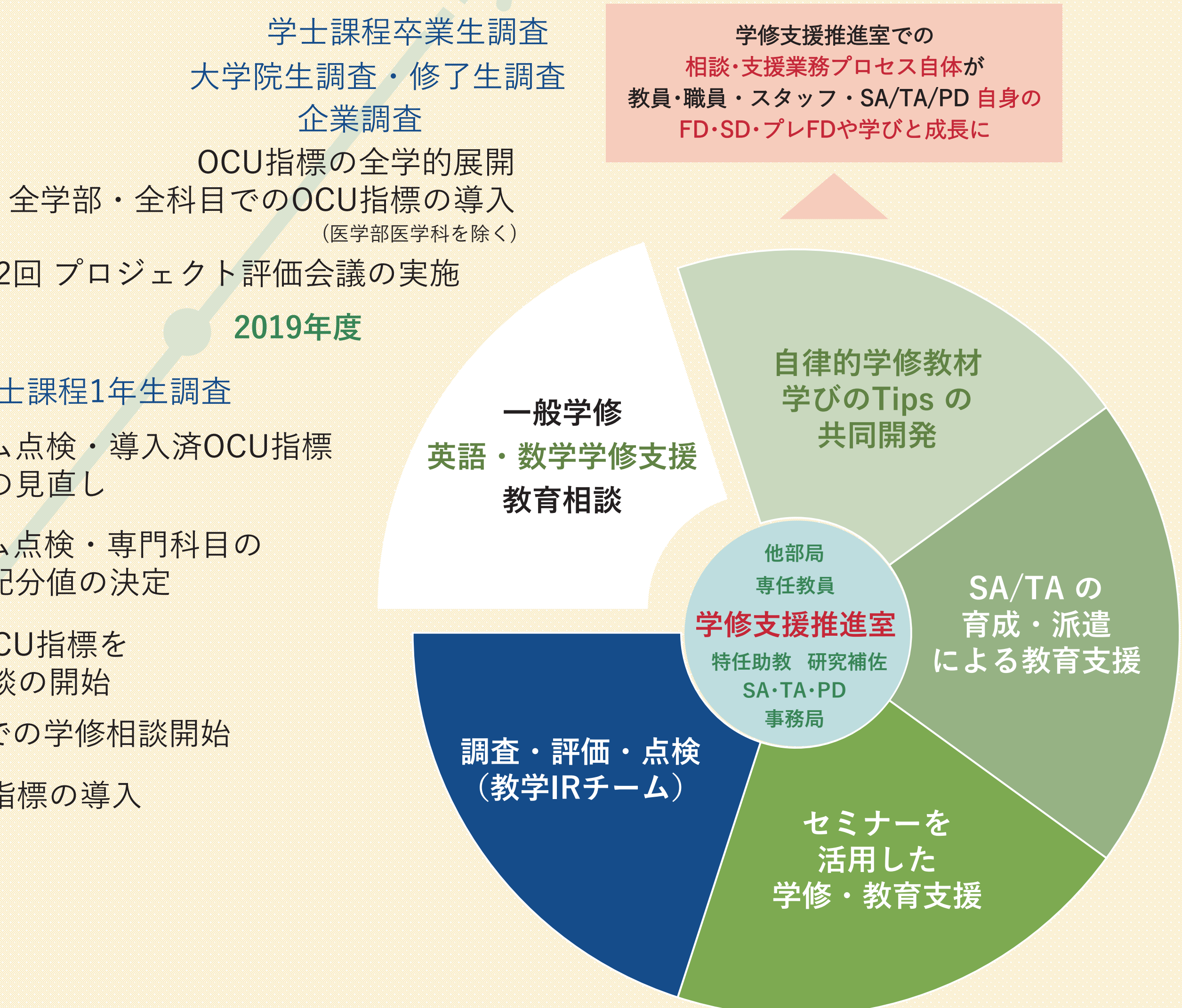


2016年度
経済学部でのPE (Practical Economist) 指標の活用
AP事業の実施・運営体制の確立
3ポリシーの点検・WEB上での公開
学修支援推進室 (OCUラーニングセンター) の正式開室

2017年度
学修支援推進室 (OCUラーニングセンター) の正式開室
各種学修相談の開始
経済学部でのOCU指標の試行導入
SA制度の新設に伴う、SAマニュアルの作成・研修の実施
全学共通教育科目の成果配分値の決定

2018年度
第1回プロジェクト評価会議の実施
教員意識調査
全学共通教育科目でのOCU指標の導入
Ma-NAVI場 (図書館) での学修相談開始
経済学部生へのOCU指標を活用した学修相談の開始
各部署でのカリキュラム点検・専門科目のOCU指標の成果配分値の決定

2019年度
第2回プロジェクト評価会議の実施
OCU指標の全学的展開
全学部・全科目でのOCU指標の導入 (医学部医学科を除く)
企業調査
大学院生調査・修士生調査
学修支援推進室での相談・支援業務プロセス自体が教員・職員・スタッフ・SA/TA/PD自身のFD・SD・ブレFDや学びと成長に



- ・ OCU指標を活用した学生の学修の振り返り、学修目標設定支援を行っている。
- ・ 学生の学修課題やニーズを把握し、それに応じて自習自習 (レポート等) の相談・助言を行っている。
- ・ 学内のニーズ、資源をもとに、本学の専任教員と博士研究員が、各専門領域に関する学修支援を行っている。
- ・ 教員からの、学生の能動的学修を促す授業・教育推進のための相談や、授業開発連携支援にも対応している。
- ・ 自主学修教材「学びのTips」を開発。レポートの書き方、プレゼンの仕方、質問の仕方などの大学の学修で求められることについてや、数学の内容習得を促すもの。
- ・ SA/TA/PDと共同で作成し、学修支援推進室内に開架している。学生の相談内容やSAの経験をふまえて作成。
- ・ SA業務用マニュアルを作成・活用し、研修を行っているほか、SA/TAの育成プログラムを、①大学教育の基礎知識修得、②授業支援(派遣)、③学修支援セミナーの企画実施振り返り、④教材「学びのTips」開発、⑤相談業務(TAのみ)を体系立って経験するプログラムを構築している。(TAにとってはブレFDの効果もある。)
- ・ SA/TA向けのアンケート調査やヒアリング調査をふまえ、SA/TAの教育支援・学修支援のための資質・態度を一層向上するプログラムに進化させている。
- ・ SA/TA/PDと共同で、学生の相談内容を参考に、学びのTipsを活用しつつ、学生のニーズに応じてセミナーを企画・実施している。
【学生向け学修支援セミナー 34回 学生文化交流企画 (SA/TA企画) 8回 教育支援セミナー 4回】
- ・ 学生の学修状況や学修成果、教員の教育に関する意識や実践の状況を把握し、学修・教育支援のニーズをとらえるための各種調査の実施



4. 今後の展望

【OCU指標と間接調査による学修成果保証】2019年度にOCU指標が全学的に導入されたことを受け (※医学部医学科を除く)、OCU指標を活用した学修相談を本格化する。さらに、OCU指標の活用に伴うカリキュラム点検や各種調査で得られたステークホルダー等の意見も反映しながら、質保証に取り組んでいく。

【SA/TAの育成】体系立って経験を積むことのできるプログラムとして進化させつつあるSA/TAの育成プログラムを、SA/TA自身の意見も取り入れながら一層充実させる。

【連携体制の継続・強化】AP事業の採択を機に、学内の他組織と効率的に連携しつつ構築してきた学修支援・教育支援と広報活動を、本学の学生や教員のニーズと状況に合った持続可能な形を検討・工夫しながら、一層充実させていく。

